

ユニークな機能性原料を紹介

UNIPEx社の老化対応商品

池田物産は、国内代理店をしているカナダのUNIPEx社の機能性に富んだユニークな原料(ペプチド、植物エキス、海由来エキスなど)を中心とした製品紹介のセミナーを2月8日、都内で開催した。

UNIPExグループは、化粧品、医薬品、専門の化学物質、栄養産業の包括的なソリューションを提供している。2700以上の有効成分、専門の化学物質などの商品を扱い、2500を超える世界の大手メーカーがクライアントとなっている。

セミナーはUNIPEx社の紹介から始まり、①「生体の時間生物学からみたアンチエイジングの素材」と②「多様な皮膚炎症に着目した抗炎症素材」のプレゼンテーション、UNIPEx社から見た世界の市場動

向、質疑応答、懇親会のプログラムで進行した。

①では、ヒトの体内にあるサーカディアンリズムに着目し、年代ごとの光老化にターゲットを合わせたアンチエイジング化粧品への提案がなされた。サーカディアンリズムとは、生物に備わる昼と夜を作り出す1日のリズムのことで、約24時間で周期し、一部は地球の自転によって生ずる昼夜環境に生物が反応した結果が生ずる外在性リズムと生体内に備わっている生理的機能(体温、ホルモン分泌など)である内在性リズムが同調しリズムを刻む体内時計とされている。体内時計にずれが生じると精神、身体機能に影響を及ぼすとされている。アンチエイジングコンセプトにはChronobiology(時間生物学)・Chronological &

PhotoAging(経時 & 光老化) = Targeted anti-aging action(狙いを定めたアンチエイジングアクション)というユニークなものを掲げ、老化対策のまとめでは、しみに「Tyrosinase-1」(Melanostatin-5)、表皮の薄化には「Thymulin-4」(弾力性 & ハリの減少には「Kollagen」(ECM-Proteoglycan)、バリア機能の減少 & 水分維持には「MDI Complex」(Neutrogena)「Collagen」(Thymulin-4)など症状別に使用する原料を説明し、老化サインに対処するのに早すぎることはないのだという。

②はストレス社会に悩む現代の人々に多い敏感肌及び炎症皮膚に対して様々な要因(UV、フリーラジカル、ホルモンバランス、ストレスなど)に対応した抗炎症原料の効果及びメカニズムを紹介した。UNIPEx社の抗炎症製品ラインには原料名「CW」(植物抽出由来) ②炎症に対する臨床効果: UV & 化学物質誘発の紅斑。原料名「MDI Complex」(海由来) ②炎症に対する臨床効果: 血管サイズ、色。赤み。原料名「Neutrogena」(ペプチド由来) ②炎症に対する臨床効果: 刺激、赤み、むくみ。かみそり負け、赤み & ツツパリ。原料名「EUK-134」(生体模倣分子) ②炎症

に対する臨床効果: UV Bによって誘発された紅斑。原料名「Melitane」(ペプチド由来) ②炎症に対する臨床効果: MED(最小紅斑量) などがあり、原料別に詳細な商品特徴、用途、効果の説明がなされた。

「UNIPEx社から見た世界の市場動向」では、化粧品トレンドの情報やグローバルに展開するマーケティングについても併せて紹介。大変興味深いセミナーとなった。



セミナー会場